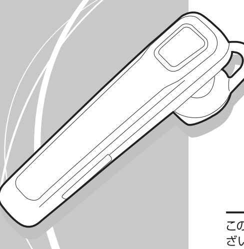
SEIWA®
http://www.seiwa-c.co.jp
S-I-N-C
Style of Interface to the Next Communication



140207

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

※取り扱い説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。

接続機器名/	BT670/680
パスキー/	0000（ゼロを4つ）

BT 670
Bluetoothハンズフリー ME4UD
BT 680

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用の前に本書（取扱説明書）及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

1 はじめに

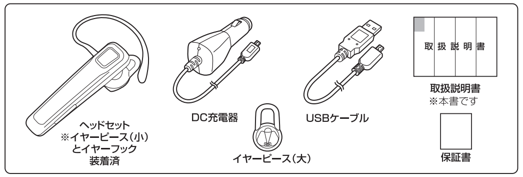
※本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォンなどにお使いいただけますが、本書の中では接続機器を「携帯電話」と記載しております。

●本書ではボタンの押し方を以下のように矢印で示しています。

短く押す	短く連続で押す	長押しする
▶ 例）短く1回押す	‖2▶ 例）連続で2回押す	4秒▶ 例）約4秒間長押しする

••• セット内容の確認

●セット内容がすべてそろっていることを確認してください。


ヘッドセット
※イヤーピース（小）とイヤーフック装着済
DC充電器
イヤーピース（大）
USBケーブル
取 扱 説 明 書
取扱説明書
※本書です
保証書

••• 安全にご使用いただくために

●以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従われない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

⚠**警 告**	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠**注 意**	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。	⃠ 禁止 禁止（してはいけないこと）を示します。	❗ 指示 強制指示（必ず実行していただくこと）を示します。

⚠警 告

⃠ 禁止 **火の中に投下したり、高温（50℃以上）の環境下に保管、放置しないでください。**
ヘッドセットの内蔵充電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。お車のダッシュボードも、直射日光の下では高温となりますので、炎天下の車内への放置はやめてください。グローブボックス内も高温となる場合がありますので、長期間の車内への保管、放置もやめてください。

⃠ 禁止 **濡らさないでください。**
濡れた手でDC充電器やUSBケーブルにさわらないでください。
本製品は非防水です。濡らしたり、雨、雪、霧などの状況下に屋外で使用しないでください。また、汗などで濡れている場合は拭き取ってから使用してください。水などが内部に入ると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。

⃠ 禁止 **釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。**
ヘッドセットの内蔵充電池を破裂、発火、発熱、漏液させる原因となります。

⃠ 禁止 **分解、改造、後加工をしないでください。**
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、ヘッドセットの内蔵充電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。ヘッドセットの内蔵充電池は取り外したり、交換はできません。これらが起因する携帯電話機のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。
また、DC充電器やUSBケーブルを分解・切断しての直接配線などは絶対にやめてください。

⃠ 禁止 **走行中の運転者による携帯電話及びDC充電器の操作は絶対にやめてください。**
運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取扱いも運転操作の妨げになりますのでやめてください。
DC充電器への接続操作などは、お車を安全な場所に駐停車しておこなってください。

⃠ 禁止 **小さなお子様（乳幼児）やペットなどには絶対に与えないでください。**
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。

❗ 指示 **付属のDC充電器は、DC12V/24Vのマイナスアース車で使用してください。**
指定外の電源、電圧で使用すると、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となります。
付属のDC充電器は自動車用です。お車のアクセサリーソケット電源以外でのご使用はおやめください。
また、DC充電器をご使用する時には、車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態で使用してください。

⃠ 禁止 **DC充電器及びUSBケーブルのコードを傷つけたり、きつく結んだり、乱暴に扱わないでください。**
感電、発火、発熱、故障、断線、けがの原因となります。

⃠ 禁止 **DC充電器及びUSBケーブルの充電プラグをお車のアクセサリーソケットに入れないでください。**
発火、発熱、故障、けがの原因となります。

❗ 指示 **電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所（病院、交通機関、一部の工事現場など）では、各施設の指示に従ってヘッドセットの電源をオフにしてください。**

❗ 指示 **本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。**
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

⃠ 禁止 **飛行機に搭乗する際は、航空会社の指示に従ってください。**
場所により航空機の運航に影響を及ぼすおそれがあります。

⚠注 意

⃠ 禁止 **お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。**
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。

⃠ 禁止 **極端な低温（0℃以下）での保管、放置はやめてください。**
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

⃠ 禁止 **DC充電器及びUSBケーブルを屋外（車外）や湿度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。**
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

❗ 指示 **ポケットやバッグに収納するときは、ヘッドセットの電源をオフにしてください。**
メインスイッチが押されて、携帯電話が誤って発信をするおそれがあります。

⃠ 禁止 **クリーニングするときに溶剤は使用しないでください。**
本製品に傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。固く絞った布で水拭きをしてください。

❗ 指示 **長期間使用しない場合は、携帯電話とのペアリングを解除して、高温や低温を避け、乾燥したホコリの少ない場所に保管してください。**

⃠ 禁止 **DC充電器及びUSBケーブルを接続した状態で、ヘッドセットを装着しないでください。**

❗ 指示 **プラグ類を抜く際は、ソケット/端子に対し必ず水平にゆっくり抜いてください。**
回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

❗ 指示 **万が一DC充電器のヒューズが破損した時には、お車のヒューズボックスにあるすべてのヒューズに破損がないかを確認してください。**
車の機能（ヘッドライト、空冷ファンなど）に支障がないことを確認してください。

❗ 指示 **DC充電器の接続は確実におこなってください。**
使用される前に、DC充電器がお車のアクセサリーソケットに奥まで確実に差し込まれているかご確認ください。また走行中にも振動によりDC充電器が外れることがあります。接触不良の状態で使用した場合、DC充電器やお車のヒューズ、アクセサリーソケット破損の原因になります（一部の車種では、アクセサリーソケットが浅く接触不良を起こす場合があります）。また、走行中の振動により電源プラグの先端キャップが緩む場合がありますので、定期的に先端キャップを増し締めしてください。

⃠ 禁止 **付属しているDC充電器及びUSBケーブル以外で、ヘッドセットを充電しないでください。**
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。USBケーブルはPCのUSBポートからの充電専用です。

⃠ 禁止 **DC充電器及びヘッドセットのLED光源を直視しないでください。**
目の健康をそこねるおそれがあります。

••• 取扱い上のお願い

- ●**ご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。**
- ●本製品の使用中に起こった、メモリーダイヤル及びデータの消失や通信不能などの付随的保証は一切負いかねます。
- ●本製品を含むBluetooth機器同士で通話をすると、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

••• Bluetoothについて

●Bluetoothとは、携帯情報機器向けの無線通信技術です。接続機器とケーブルを使わずにワイヤレス接続し、音声やデータをやりとりすることができます。また赤外線などと違い、機器間の距離がおよそ10m以内（本製品と同じClass2 機器の場合）であれば障害物があっても利用することができます（状況により通信感度は異なります）。

••• 本製品について

- ●本製品のヘッドセットはBluetooth Version 4.0 Class2 に準拠、適合しておりますが、適合機種以外のBluetoothバージョン内蔵機器との相互接続は、その互換性によることから保証しておりません。
- ●適合可能な携帯電話に関する情報については適合表にてご確認ください。
- ●付属のイヤーフック、イヤーピースは使用状況によって寿命が著しく異なります。ご使用前の不良や不具合を除き、製品保証の対象外とさせていただきます。
- ●内蔵充電池は消耗品ですので、充電池の劣化による通話/スタンバイ時間の短縮は製品保証の対象にはなりません。また、充電池の交換はできません。
- ●仕様および外観は、改良のため予告なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。

2 使い方の説明

お買い求めいただいた後、ご使用前に必ずやっていただくこと

①本製品ヘッドセットを充電する

本製品ヘッドセット本製品は約70%以上の充電状態で工場を出荷しておりますが、ご使用の前にヘッドセットを充電して、満充電にしてください。（→「4.充電する」を参照）

②イヤーフックとイヤーピースを準備する

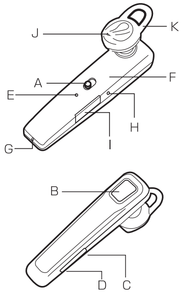
付属のイヤーピースを耳に合う形状のものに取り替えて、付属のイヤーフックを取り付けてください。（→「5.イヤーピース」「6.イヤーフック」を参照）

③お手持ちの携帯電話やスマートフォンと本製品ヘッドセットをペアリングする

本製品ヘッドセット（Bluetoothヘッドセット）はそのままではご使用いただけません。お手持ちの携帯電話やスマートフォンと、本製品をお互いに登録設定することで、無線通話が可能となります。この設定をペアリングといいます。（→「7.ペアリング」を参照）

3 製品仕様

名称	機能・説明
A.電源スイッチ	電源ON/OFFに使用します。
B. メインスイッチ	主に 通話操作、ペアリング などに使用します。
C. ボリュームアップキー	主に 音量調節（音量を上げる） などに使用します。
D. ボリュームダウンキー	主に 音量調節（音量を上げる） などに使用します。
E. LEDインジケーター	青色と赤色のLEDを内蔵。ヘッドセットの状態を表示します。
F. 充電池（内蔵）	リチウムポリマー電池。充電池の交換はできません。
G. マイクA	通話用マイクです。
H. マイクB	ノイズキャンセリング用マイクです。
I. 充電ソケット	USBケーブルまたはDC充電器の充電プラグを接続します。 通話用スピーカーです。操作確認のメロディやビープ音、
J. スピーカー	各種音声案内なども発します。
K.イヤーピース	交換可能です。（→「5.イヤーピース」を参照）



••• 対応プロファイル

- ●HFP（Hands-Free Profile）/ハンズフリープロファイル
- ●HSP（Headset Profile）/ヘッドセットプロファイル
- ●A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）/高度オーディオ配信プロファイル
- ●AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）/AV機器リモートコントロールプロファイル

※本製品はステレオ出力に対応しておりません。ステレオ音符の音楽再生、ワンセグ音声出力はモノラル出力になります。

••• 商標について

- ●Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標です。
- ●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ●その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

項目	仕様	備考
Bluetooth仕様	Version 4.0 Class2	
Bluetooth対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP	
周波数	2.4 GHz スペクトラム	
使用可能距離	見通し 10 m	
電池形式・容量	リチウムポリマー電池	
充電時間	約 2 時間	※1
通話時間	最大約 5 時間	※1
スタンバイ時間	最大約 200時間	※1

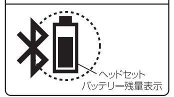
項目	仕様	備考
製品寸法	H62×W15×D21（10）mm	※2
製品重量	約 8 g	※2
マルチポイント	○ （2台まで対応）	※3
マルチペアリング	○ （8台まで対応）	※4
アラーム音	あり	
充電ポート	あり	
接続機器表示名	BT670/680	※5
パスキーコード	0000（ゼロを4つ）	※6

※1 使用状況、携帯電話の機種、使用環境、動作条件などによって変わります。
※2 イヤーフック及びイヤーピースを装着していない状態の数値です。（）内はイヤホン突起部を含まないヘッドセット本体の厚みです。
※3 2台のBluetooth対応携帯電話を同時に待ち受けできます。
※4 電源オフにしても8台までのペアリング履歴を記憶できます（同時に8台と接続し待ち受けできるわけではありません）。
※5 接続機器表示名は、携帯電話や他のBluetooth機器でサーチ（検索）された際に表示される名称です。

4 充電する

••• 充電をはじめる前に必ずお読みください

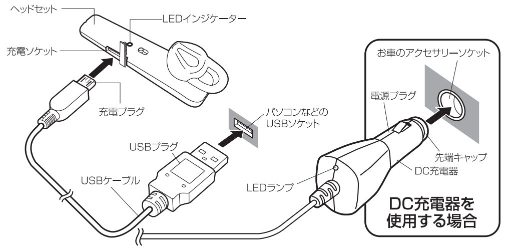
iPhoneステータスバーでのアイコン表示例


ヘッドセット
バッテリー残量表示

⚠充電には、必ず付属品（USBケーブル、DC充電器）を使用してください。

- ●ヘッドセットには充電池が内蔵されています。使用前に充分に充電してください。
- ●出荷時に約70%以上の充電を行っておりますが、はじめてご使用になるときに場合によっては満充電になるまで数分〜最大で約2時間充電する必要があります（本体の充電池残量によってはじめの充電時間は異なります）。
- ●充電池の劣化を防ぐため、連続6時間以上の充電は避けてください。充電が完了しましたら速やかにUSBケーブル/DC充電器を取り外してください。
- ●USBケーブル/DC充電器の充電プラグをお車のアクセサリーソケット内に絶対に入れないでください。
- ●本製品ヘッドセットは充電中の待ち受けが可能です。
- ●充電中に待ち受けすると満充電まで2時間以上かかる場合があります。
- ●USBプラグには差し込み方向があります。プラグ形状とUSBポートの形状をよく確認してから接続してください。プラグ類を外す際には、必ずプラグの根元をしっかり持って、水平にゆっくり抜いてください。
- ●ヘッドセットを長期間使用していなかったり、充電池が完全放電した状態では、LEDインジケーターが点灯するまで時間がかかる場合があります。（数分かかる場合もあります）
- ●iPhoneではiPhone画面上にヘッドセットのバッテリー残量目安が表示されます（右上図参照）。
- ●バッテリー残量表示はiPhone側、本製品側の状況（充電状態であったり著しく電池を消費する使用環境であるなど）により誤差が生じる事があります。

電池残量表示対応機種　（2014年1月現在）
iPhone5S/5C/5/4S/4/3GS/3G　※iOS 3.12以降



••• USBケーブルで充電する場合

- ●USBケーブルでの充電はPCのUSBポート専用です。
- ●USBケーブルのUSBプラグをPCなどのUSBポートへ接続してください。
- ●USBケーブルの充電プラグをヘッドセットの充電ソケットへ差し込んでください。
- ●ヘッドセットのLEDインジケーターが赤点灯し、充電が開始されます。
- ●ヘッドセットは約2時間で満充電になり、充電が完了するとLEDインジケーターが青点灯します。

※充電に使用するUSBポートの電流値によっては、充電時間が長くなる場合があります。

- ●USBケーブルをPC以外の外部充電器に接続しての不都合に関しては責任を負えません。

••• DC充電器で充電する場合（車で充電）

- ●DC充電器はDC12V/24V対応（マイナスアース車専用）です。
- ●お車のアクセサリーソケット内のゴミ、灰等をよく取り除いてください。汚れたままDC充電器を差し込むと接触不良の原因になります。
- ●必ず、あらかじめお車のエンジンをかけておいてください。
- ●エンジン始動後、DC充電器をお車のアクセサリーソケットに差し込んでください。振動等で抜け落ちることの無いよう奥までしっかり差し込んでください。通電するとLEDランプが点灯します。
- ●DC充電器の充電プラグをヘッドセットの充電ソケットへ差し込んでください。
- ●充電が必要な場合は2分以内にヘッドセットのLEDインジケーターが赤点灯し、充電が開始されます。

※ヘッドセットが充電されない（ヘッドセットのLEDインジケーターが点灯しない）場合は、DC充電器の電源プラグ部に内蔵されているヒューズが切れている場合がございます。ヒューズを確認し、切れている場合は同じものと交換してください（電源プラグの先端キャップをまわして取り外すと、中にヒューズが入っています）。

- ●ヘッドセットは約2時間で満充電になり、充電が完了するとLEDインジケーターが青点灯します。

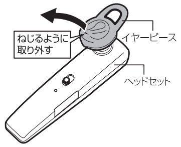
※DC充電器のLEDランプは通電確認用です。充電が完了しても通電中は常に点灯しています。
※走行中にDC充電器の電源プラグ先端ネジキャップがゆるむことがありますので、ご使用前に増し締めを行ってください。

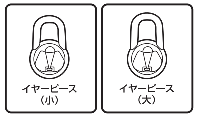
5 イヤーピース

- ●本製品は出荷時に小サイズのイヤーピースが取り付けられていますが、付属の大サイズに交換することができます。耳に合わせて装着感の良いイヤーピースをご使用ください。
- ●イヤーピースは、つまんで、ねじりながら取り外して交換してください。

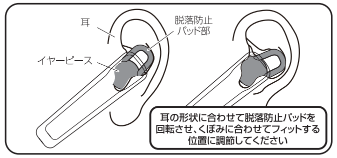
※無理に剥がすと、破れ、切れなど破損の原因になります。紛失、破損した場合でイヤーピースだけをお買い求めいただきたい場合は、商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください。（お取り寄せとなります）

- ●イヤーピースを使用する場合は、脱落防止パッド部分を耳のくぼみ形状に合う角度に調節してください。
- ●耳にはめて、フィットする位置に調節してください。




イヤーピース（小）
イヤーピース（大）

イヤピースの脱落防止パッド部が邪魔な場合はハサミ等で切り取ってご使用ください。

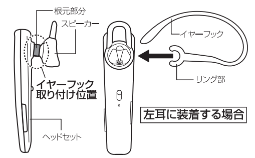


耳の形状に合わせて脱落防止パッドを回転させ、くぼみに合わせてフィットする位置に調節してください

6 イヤーフック

- ●本製品には樹脂製のイヤーフックを取り付けて使用することができます。
- ●イヤーフックはヘッドセットのスピーカー根元部分に取り付けてください。
- ●イヤーフックの取り付け方向を変えることで、左右の耳どちらでも装着することができます。

※本製品はイヤーフックのみでの装着はできません。必ずスピーカー部を耳穴に装着し、イヤーフックは補助用として使用してください。
※イヤーフックを紛失、破損した場合でイヤーフックだけをお買い求めいただきたい場合は、商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください（お取り寄せとなります）。



準備が終わったらペアリングを行ってください！

7 ペアリング（機器への初期登録）の方法

••• ペアリングについて

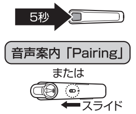
ヘッドセットをはじめてご使用になる場合、接続する携帯電話やスマートフォンとペアリングしてください。
ペアリング方法は、「①一般的Bluetooth機器とのペアリング方法」と「②NFC搭載機器とのペアリング方法（裏面参照）」の2通りの接続方法がございます。
NFC非搭機器なら①を、 NFC搭載機器をご使用なら②の方法でペアリングを行ってください。

●**ペアリングは接続する機種ごとに設定方法が異なりますので、設定を行う前に必ず接続する携帯電話の取扱説明書（Bluetoothの項目など）を参照してください。**

① 一般的Bluetooth携帯とのペアリング方法

- ●裏面に記載の「代表機種のペアリング手順」に一部の携帯電話機種の機種別設定方法を記載しておりますので参照してください。また、接続する携帯電話の取扱説明書「Bluetooth」の項目も必ずお読みください。また、「代表機種のペアリング手順」に記載のない機種につきましては、弊社ホームページをご確認ください。（裏面参照）
- ●携帯電話機種の仕様（Bluetooth Ver.2.1+EDR以上）によってはペアリング手順やパスキーの入力が一部省略される場合があります。

ペアリングモードにする（ペアリング履歴あり）	→（電源オン状態から）メインスイッチを約5秒間長押し
（購入直後などペアリング履歴なし）	→（電源オフ状態から）電源スイッチをオンにする



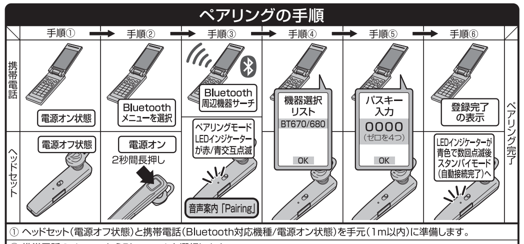
購入直後など、どのBluetooth機器ともペアリングされていない初期状態では、ヘッドセットの電源をオンにするだけでペアリングモードになります（この場合音声案内は「Power on」のみ）。
ペアリングモードになるとLEDインジケーターが赤/青交互点滅（約1分30秒間継続）します。耳に装着していた場合はスピーカーから音声案内が聞こえます。
ペアリングが成功するとLEDインジケーターが数回青点滅し、その後スタンバイモード（自動接続完了…約5秒間隔の青1回点滅）になります。（→「裏面 8.基本操作」参照）
ペアリングモード中にペアリングが成功しない場合や、認証に失敗した場合などは、スタンバイモード（未接続…約3秒間隔の青1回点滅）になります。（→「裏面 8.基本操作」参照）

購入直後や、リセット後など、ヘッドセットにどのBluetooth機器ともペアリング履歴がない初期状態では、ヘッドセットの電源をオンにするだけでペアリングモードになります。

メモ

◆付近に同じ製品が複数ある状況下ですと、「BT670/680」が複数表示されることがあります。また、周辺に他のBluetooth機器やワイヤレス接続のPCなどが多い環境では、検索されにくい場合があります。その場合は何回か繰り返しお試しください。ペアリングが成功しなかった場合は、再度ペアリングを試みると成功する場合があります。
◆接続する携帯電話の機種によっては、はじめにBluetooth設定を「オン」に設定する必要があります。
◆一度ペアリングを完了すれば、基本的にヘッドセットの電源をオフにしてもペアリングの履歴が残ります。電源をオフにした後、再度電源をオンにすると自動的に接続を行います。（機種によっては、ペアリング済みの機器を「Bluetooth接続待ち」などの状態にしたり、接続時に操作が必要な場合があります。）
◆本製品は8台までの携帯電話機とのペアリング履歴を記憶できます（8台の携帯電話とヘッドセットを同時に接続できるわけではありません。）。通話機能で同時接続できるマルチポイント接続は2台までです。

ペアリングの手順



① ヘッドセット（電源オフ状態）と携帯電話（Bluetooth対応機種/電源オン状態）を手元（1m以内）に準備します。

② 携帯電話のメニューからBluetoothを選択します。
ヘッドセットの電源スイッチをオンにしてください。LEDインジケーターが赤/青交互点滅してペアリングモードになります（購入直後や、リセット後など、どのBluetooth機器ともペアリングされていない状態では、ヘッドセットの電源をオンにするだけでペアリングモードになります）。耳に装着していた場合はスピーカーから音声案内が聞こえます。

ペアリング履歴が残った状態（青点滅）でペアリングモードにするには、電源オンの状態からメインスイッチを約5秒間長押し。

③ ヘッドセットのペアリングモード（LEDインジケーターが赤/青交互点滅）は約1分30秒間継続します。（以下手順⑥までをペアリングモード中に完了してください。）
携帯電話で周辺機器の検索（サーチ）をします。（例：「Bluetooth」→「ON/OFF設定」→「周辺デバイス検索」）

④ 携帯電話の画面に表示された検索リストの中から、ご使用になっている「BT670/680」を選択します。

⑤ 携帯電話でパスキー「0000（ゼロを4つ）」を入力します。（登録は「ハンズフリー」で行ってください。）
パスキー入力前に「携帯電話の端末暗証番号」を入力する機種があります。端末の暗証番号とパスキーは異なりますのでご注意ください。端末の暗証番号は、あらかじめ決められた番号もしくはお客様が設定した番号です。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。（※携帯電話の機種によってはパスキーの入力が必要ない場合もあります。）

⑥ ヘッドセットのLEDインジケーターが数回青点滅して、ペアリングが完了します。
携帯電話の画面には「登録完了」などの表示が出て、Bluetoothアイコンなどが接続中の表示に変わります。
ヘッドセットはその後スタンバイモード（自動接続完了…約5秒間隔の青1回点滅）になります。

※音楽再生/ワンセグ音声出力をする場合はオーディオ（A2DP）にも接続していることを確認してください。
※マルチポイント接続する場合は、→「11.マルチポイント」裏面参照

••• 代表機種のペアリング手順（裏面に記載）

※必ず携帯電話・スマートフォンの取扱説明書を読んでから手順をご確認ください。携帯電話・スマートフォンのソフトウェアバージョンアップにより方法が異なる場合もあります。
※スマートペアリングの際、自動的にパスキー入力画面が表示されたり、ペアリング手順の一部が省略または変更される場合があります（携帯電話のBluetoothがバージョン2.1+EDR以上であればパスキーの入力が省略されるなど）。
※手順は概略ですので一字一句正確なものではありません。確認及び選択時の決定キー操作などが省略されている場合があります。「BT○○○」には商品の品番（数字）が表示されます。
※下記及び裏面に記載のない機種につきましては、弊社ホームページにてご確認ください。

※裏面に続きます。

docomo 携帯電話機（例：docomo 富士通 F-04D）

1	待ち受け画面から[メニュー]キーを押し、[便利ツール]（または[Life Kit]など）を選択する。
2	開いたリストから[Bluetooth]を選択して決定キーを押す。
3	[新規機器登録]を選択し、「登録する機器を登録待機状態にしてください」という表示が出る。
4	BT○○○をペアリングモードにする。LEDインジケーターが赤/青交互点滅になる。
5	[登録機器リスト]が表示される。
6	探索後、リストに[BT○○○]が表示されるので、表示された[BT○○○]を選択して[登録]キーを押す。
7	（場合によってパスキー【0000】ゼロが4つ）の入力が必要） 「BT○○○を認証しますか?」と表示されるので[はい]を選択→「BT○○○を機器登録しました」と表示される
8	再度、[登録機器リスト]が表示されるので[BT○○○]を選択して[接続]キーを押す。
9	「BT○○○接続しました」などと表示され、ヘッドセットがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

Android Ver.4.2.2 スマートフォン
（例：au ソニーモバイル SOL23 XPERIA Z1）

1	ホーム画面から前面左下の[メニュー]キーを押す。
2	開いたウインドウの[端末設定]（または[設定]や[本体設定]）をタップ（画面を押す）する。
3	Bluetoothを[ON]にしてBluetoothタップする。
4	BT○○○をペアリングモードにする。LEDインジケーターが赤/青交互点滅になる。
5	[端末のスキャン]（または[デバイスの検索]や[デバイスのスキャン]）をタップする。
6	スキャンが終わると、使用可能な機器のリストに「BT○○○」という表示が出る。
7	表示されたリストのBT○○○をタップする。
8	ペアリングされた機器リストの下に「BT○○○ 接続」などと表示され、ヘッドセットがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

Android Ver.2.3 スマートフォン
（例：docomo ソニーエリクソン SO-01C【Xperia arc】）

1	ホーム画面から[設定]（または[端末設定]や[本体設定]）アイコンをタップ（画面を押す）する。
2	設定リストの中の[無線とネットワーク]をタップする。（リストが隠れている場合はスクロールして表示）
3	Bluetoothを[オン]にする。
4	BT○○○をペアリングモードにする。LEDインジケーターが赤/青交互点滅になる。
5	[Bluetooth設定]→[端末のスキャン]の順にタップする。
6	スキャンが終わると、デバイスのリストに「BT○○○ この端末をペアに設定する」という表示が出る。
7	表示されたリストのBT○○○をタップする。
8	「BT○○○ ペアに設定して接続する」と表示されるので選択してタップする。
9	「BT○○○ （電話オーディオに）接続」などと表示され、ヘッドセットがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

iPhone
（例：Apple iPhone5s/iOS 7.0.4 ）

1	[デスクトップ画面]を開いて[設定]を選択する。
2	[Bluetooth]を選択する。
3	BT○○○をペアリングモードにする。LEDインジケーターが赤/青交互点滅になる。
4	Bluetoothを[オフ]から[オン]にする。
5	自動的にデバイスのスキャンが始まる。
6	スキャンが終わると、デバイスのリストに「BT○○○ ペアリングされていません」と表示が出る。
7	表示されたリストのBT○○○をタップする。（場合によってパスキー【0000】ゼロが4つ）の入力が必要）
8	しばらくすると「BT○○○接続されました」と表示される。
9	ヘッドセットがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

SoftBank 携帯電話機
（例：SoftBank パナソニック 942P）

1	待ち受け画面からメニュー画面を開き、[ツール]（または[設定]など）を選択する。
2	開いたリストから[Bluetooth]（機種によっては[外部接続機器]→[Bluetooth]）を選択する。
3	BT○○○をペアリングモードにする。LEDインジケーターが赤/青交互点滅になる。
4	[検索・デバイスリスト]（または[デバイス検索]や[新規機器登録]など）を選択する。
5	[ハンズフリー機器を登録]を選択する。
6	「初期登録します。よろしいですか?」などと表示されるので、[はい（OK）]を選択する。
7	探索後、機器選択リストに[BT○○○]が表示されるので、表示された[BT○○○]を選択する。（場合によってパスキー【0000】ゼロが4つ）の入力が必要）
8	「BT○○○認証処理中」と表示 →「HFP BT○○○を登録しました」と表示される。
9	ヘッドセットがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

au 携帯電話機
（例：au カシオ CA004）

1	待ち受け画面からメニュー画面を開き、[アクセサリ]（または[ツール]など）を選択する。
2	開いたリストから[Bluetooth]を選択する。
3	BT○○○をペアリングモードにする。LEDインジケーターが赤/青交互点滅になる。
4	[初期登録]（または[新規機器登録]など）を選択する。
5	[ハンズフリー機器を登録]を選択する。
6	「初期登録します。よろしいですか?」などと表示されるので、[はい（OK）]を選択する
7	探索後、機器選択リストに[BT○○○]が表示されるので、表示された[BT○○○]を選択する。（場合によってパスキー【0000】ゼロが4つ）の入力が必要）
8	「BT○○○認証処理中」と表示 →「HFP BT○○○を登録しました」と表示される。
9	ヘッドセットがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

メモ

※接続がHFP（ハンズフリープロファイル）になっていることをご確認ください。また、音楽再生やワンセグ音声出力などを楽しむ場合はオーディオ（A2DP）でも接続されているかご確認してください。

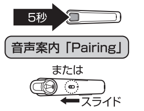
※SHARP製の一部機種の場合、初期設定では発信時にスマートフォンからBluetooth機器への自動切替えができずに「携帯電話からヘッドセットへの通話切り替えの操作が必要ですが（→「8.基本操作」参照）」、[Bluetooth設定]内の[Bluetooth詳細設定]を選び、[常にハンズフリー]をONにすることで、携帯電話を操作して電話をかけた際のヘッドセットへの通話切り替え操作を省略できます。

※記載のない機種につきましては、弊社ホームページ及びご使用の携帯電話機の取り扱い説明書をご確認ください。

② NFC対応機器とのペアリング方法

NFC対応の機器に本体をかざして、選択するだけで簡単にペアリングが完了します。
一部の機種でNFC接続を行うためいにAPPのダウンロードが必要な場合があります。詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご確認頂くか、通信業者にご確認ください。

ペアリングモードにする（ペアリング履歴あり）	→（電源オン状態から）メインスイッチを約5秒間長押し
（購入直後などペアリング履歴なし）	→（電源オフ状態から）電源スイッチをオンにする

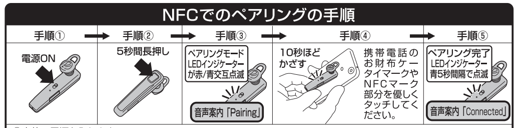

5秒
音声案内「Pairing」
または
スライド

購入直後など、どのBluetooth機器ともペアリングされていない初期状態では、ヘッドセットの電源をオンにするだけでペアリングモードになります（この場合音声案内は「Power on」のみ）。
ペアリングモードになるとLEDインジケーターが赤/青交互点滅（約1分30秒間継続）します。耳に装着していた場合はスピーカーから音声案内が聞こえます。
ペアリングが成功するとLEDインジケーターが数回青点滅し、その後スタンバイモード（自動接続完了…約5秒間隔の青1回点滅）になります。（→「8.基本操作」参照）
ペアリングモード中にペアリングが成功しない場合や、認証に失敗した場合などは、スタンバイモード（未接続…約3秒間隔の青1回点滅）になります。（→「8.基本操作」参照）

NFC機能でのペアリング準備

1）予め携帯電話の「設定」を開きます（「本体設定」や「端末設定」など、携帯電話機により違いがあります）。
「設定」の中の「無線とネットワーク」や「その他ネットワーク」や「その他」の項目を探して開きます。
2）「NFC/おサイフケータイ設定」を開きます（名称は携帯電話によって違います）。
3）「NFC/おサイフケータイロック」のロックをしている場合は、ロックを外します。
4）「Reader/Writer,P2P」をONにします（「R/W P2P」など名称が携帯電話機によって違います）。

NFCでのペアリングの手順


手順①
手順②
手順③
手順④
手順⑤
電源ON
5秒間長押し
ペアリングモード
LEDインジケーターが赤/青交互点滅
音声案内「Pairing」
10秒ほどかざす
携帯電話のお財布ケータイマークやNFCマーク部分を優しくタッチしてください。
ペアリング完了
LEDインジケーター青5秒間隔で点滅
音声案内「Connected」

①本体の電源を入れます。
②メインスイッチを5秒間長押しします。
③ペアリングモードになりLEDが赤/青交互点滅します。（音声案内「Pairing」）
④携帯電話の「お財布ケータイマーク」や「NFCマーク」部分に本体を優しくタッチして10秒ほどかざします。本機と携帯電話機のNFC接点が合致した場合、携帯電話からビープ音が鳴ります。NFC接続が完了、成功する表示が出るまで、そのタッチした位置を保持してください。離してしまった場合は、もう一度、タッチを行ってください。
※携帯電話によっては、携帯電話機側でビープ音がなるまでに時間がかかる場合があります。
※ビープ音が鳴った後、携帯電話機によっては、「NFC Tag Reader（NFCタグリーダー）」や「コードリーダー」が起動しようとする場合がありますが、これらを起動させると本機のNFC接続が失敗する場合があります。起動させないか、起動を無視して「戻る」を選択して、接続が終わるまでお待ちください（5～10秒）。その間、本機と携帯電話機のタッチを離したり、位置をずらさないようご注意ください。
⑤LEDが青5秒間隔に1回点滅になればペアリング完了です。（音声案内「Connected」）

メモ

◆NFCが上手く反応しない場合は、かざす場所を変えるなどしてください。
◆NFC接続が成功しない場合は、本機をリセットしてペアリング待機状態にしてからお試しください。また何度も失敗する場合は、表面の「一般的Bluetooth機器とのペアリング方法」でペアリングしてください。
◆機種によっては携帯電話機側のBluetooth機能を予めONにした方が成功率が高くスムーズにNFC接続ができます。
◆携帯電話にケースを装着している場合は、NFC（近距離通信機能）の仕様上、接続がうまく行かない場合があります。その場合はケースを外してお試しいただくか、表面の「一般的Bluetooth機器とのペアリング方法」でペアリングしてください。

上面へ続きます。

メモ

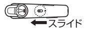
◆NFC機能が内蔵されていても、おサイフ機能などでの使用に特化しており、Bluetooth機器との接続に適していない仕様の携帯電話が一部あります。NFC接続がうまく行かない場合は、表面の「一般的Bluetooth機器とのペアリング方法」でペアリングしてください。
◆NFCの適合情報は弊社のWebページで随時配信して更新を致しますが、携帯電話機のOSは基本的に発売時にインストールされたもので情報を配信致します。ソフトウエアのアップデートによる適合情報の変化は更新できない場合がありますので、ご了承願います。
◆NFC接続は周囲の環境や、携帯電話機のスペックなどにもその正確さや接続の反応が左右される機能です。急に接続ができなくなった場合などは、携帯電話機と本機をリセットして、改めてペアリングと接続をし直してください。

8 基本操作

LEDインジケーター　パターン

青 5秒に1回点滅	青 3秒に1回点滅	赤 点灯	赤/青 交互点滅	青赤（紫）3回点滅	赤 点滅	青 高速点滅
接続OK	未接続	充電中	ペアリングモード	リセット OK	要充電	着信中

電源オン（電源を入れる）　→（電源オフ状態から）電源スイッチをオンにする



LEDインジケーターが3回青点滅して、電源がオンになります。
その後スタンバイモードになり、ペアリング済みの携帯電話と自動接続を試行します。 ※1 ※2

音声案内「Power on」

スタンバイモード（自動接続完了）　→【LED】約5秒間隔で青1回点滅

音声案内「Connected」
通話できます

電源オンの状態で、ペアリング済みの携帯電話との接続がされている状態です。自動接続が完了するとこの状態になり、通話などの操作が可能になります。 ※3

スタンバイモード（未接続）　→【LED】約3秒間隔で青1回点滅

通話できません

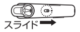
電源オンの状態ですが、ヘッドセットと携帯電話との接続ができていない状態です。この状態では通話はできません。 ※4

ペアリングされていない初期状態　→【LED】赤/青交互点滅（約1分30秒間継続）

通話できません

ペアリングを一度も行われていません。表面 7の「ペアリング」をご確認になり携帯電話とペアリングを行ってください。

電源オフ（電源を切る）　→（電源オン状態から）電源スイッチをオフにする

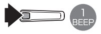


音声案内「Power off」ペアリングされていない時
音声案内「Power off dis connected」ペアリング時

LEDインジケーターが3回赤点滅した後消灯して、電源がオフになります。 ※5

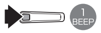
着信　→【LED】青色 高速点滅

着信応答（電話を受ける）/通話　→（着信中）メインスイッチを短く1回押し



着信中はスピーカーから着信音が聞こえます。着信応答操作をするとヘッドセットのスピーカーからビープ音が聞こえ、電話を受けることができます。 ※6

終話（電話を切る）　→（通話中）メインスイッチを短く1回押し



終話操作をするとヘッドセットのスピーカーからビープ音が聞こえ、電話が切れます。その後、スタンバイモード（自動接続完了）になります。 ※7

ラストナンバーリダイヤルする　→（自動接続完了のスタンバイモード中）メインスイッチを短く2回押し

音声案内「Last Number Redial」

ビープ音が聞こえ、携帯電話から最後に発信した番号にダイヤルします。 ※8 ※9

着信拒否　→（着信中）メインスイッチを約2秒間長押し

ビープ音が聞こえて着信拒否します。 ※10

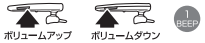
ヘッドセットから携帯電話への通話切り替え　→（通話中）メインスイッチを約2秒間長押し

通話中にメインスイッチを約2秒間長押しして、ビープ音が聞こえたらメインスイッチから指を離してください。通話が携帯電話へ切り替わります。その後の通話及び操作（終話など）は携帯電話にて行ってください。

携帯電話からヘッドセットへの通話切り替え　→（通話中）メインスイッチを約2秒間長押し

携帯電話で通話中にメインスイッチを約2秒間長押しして、ビープ音が聞こえたらメインスイッチから指を離してください。通話がヘッドセットへ切り替わりま ※11

音量調節　→ ボリュームアップキー または ボリュームダウンキー を短く1回押し


ボリュームアップ
ボリュームダウン
1 BEEP

音量を調節できます。
最大音量または最小音量になるとビープ音でお知らせします。 ※12

マイクミュート/マイクミュート解除　→（通話中）ボリュームダウンキー（ー）を約2秒間長押し

ボリュームダウンキー（ー）を約2秒間長押しして、ビープ音が1回聞こえたらヘッドセットのマイクがミュートになり、こちらの音声が相手に聞こえなくなります。（赤LED4秒1回点滅）
マイクミュート中に同様の操作をするとマイクミュートが解除されます。（青LED4秒1回）

スマートフォンでないフューチャーフォンをお使いの携帯電話によっては自動的にBluetooth機器に通話を受け渡ししない機種があります。その場合電話をかけて相手が受信状態になった後、本体のメインスイッチを2秒以上長押しして通話切換を行うか、携帯電話機器の画面上の指示に従ってキー操作を行ってください。携帯電話機器によっては、予めハンズフリー通話の設定を行っておくことで自動切換え可能になる機種もあります。

メモ

※1:一度ペアリングをした後は、ヘッドセットの電源を入れると、携帯電話を自動的に認識/接続してスタンバイモード（自動接続完了）になります。（自動認識/接続しない場合は、メインスイッチを一度押してください。再接続が試行され、接続できる場合があります。）
※2:作動中メインスイッチを押し続けるとペアリングモードになってしまいますのでご注意ください。
※3:携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。本製品をペアリング後、長期間使用していない場合はご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を接続しなおしてください（※ペアリングではありません）。それでも接続できないときは、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BT670/680」を削除し、ヘッドセットの電源を切って満充電まで充電した後、再度ペアリングしてください。
※4:ヘッドセットの電源オン後の自動接続に失敗したり、携帯電話との接続が切れると、このモードになります。
※5:ヘッドセットの電源をオフにすると携帯電話との接続が切れますが、ペアリングした携帯電話とのペアリング履歴は残っております。（最大8台分のペアリング履歴を記憶するマルチペアリング機能）
※6:ヘッドセットを装着（使用）した状態でも、携帯電話を通常操作（通話ボタンを押すなど）して電話を受けることもできます（携帯電話本体での通話となりますので、その後通話をヘッドセットに切り替えてください）。
※7:ヘッドセットを装着（使用）した状態でも、携帯電話を通常操作（終話ボタンを押すなど）して電話を切ることもできます。
※8:HFP（ハンズフリープロファイル）が使用できない携帯電話では、ヘッドセットからのリダイヤルはできません。携帯電話を通常操作してダイヤルし、その後ヘッドセットに通話を切り替えてください。
※9:1台目はメインスイッチを2回押す、2回めはボリュームダウンキー（ー）を2回押しでラストナンバーリダイヤル。
※10:ビープ音が聞こえたら指を離してください。
※11:最新発信番号（ラストナンバーリダイヤル）以外にダイヤル発信したい（電話をかけたい）場合など、携帯電話を通常操作してダイヤル発信した場合は、相手が電話に出てから（通話開始後）メインスイッチを約2秒間長押ししてヘッドセットに通話を切り替えるとヘッドセットで通話ができます（一部機種では自動的にヘッドセットに通話が切り替えられる場合もあります）。
※12:耳への障害を予防するため、音量を必要以上に上げすぎないでください。また、大きな音量での長時間の通話はおやめください。

••• 音楽再生やワンセグ音声出力を楽しむ

●音楽再生/ワンセグ音声出力に使用する場合は、あらかじめ携帯電話のBluetooth設定で本製品をオーディオ（A2DP）プロファイルにも接続してください。
●携帯電話の機種によっては、音楽再生及びワンセグ音声出力時のボタン操作ができない場合があります。
●携帯電話の機種によっては、音楽再生及びワンセグ音声出力時の着信応答操作などができない場合があります。

機能	操作方法/説明
再生/一時停止	（音楽/ワンセグを起動した状態で）メインスイッチを短く1回押し
曲送り（チャンネル送り）	（再生中に）ボリュームアップキーを約2秒間長押し
曲の頭出し（チャンネル戻し）	（再生中に）ボリュームダウンキーを約2秒間長押し

●音楽再生中の着信応答 ・・・・・・・・ 着信中にメインスイッチを短く1回押す
●電話を切る（終話）・・・・・・・・・・・・・・・ 通話中にメインスイッチを短く1回押す
（音楽再生またはワンセグ視聴に戻ります。）

9 便利な機能

••• Siriを起動する（iOS5.1以上のiPhone5s/5c/5/4sに対応 ※2014年1月現在）

●スタンバイモード（自動接続完了）時にヘッドセットのメインスイッチを約2秒長押しする（ピッというビープ音が聞こえたら指を離す）と、iPhoneのSiri Appがハンズフリーで起動し、Siriを使っての音声入力がBluetoothのマイクで可能になります。終了したい場合はもう一度メインスイッチを2秒長押ししてください。
●iPhoneでの音楽再生中にヘッドセットのメインスイッチを2秒長押しすると、音楽が自動的に一時停止し、Siriが起動します。この時はSiri終了するまで、音楽は再生しません。iPhoneが自動ロック状態になるとSiriが終了し、音楽が自動再生します。（長押しではなく、メインスイッチを短く1回押しすると一時停止になります。）
※上記操作はiOS及びソフトウェアのアップデートなどにより、操作が変更もしくは限定される場合があります。

••• リンク切断後の再接続試行

●ペアリングされた携帯電話がヘッドセットの通信範囲（約10m）から離れた場合や、携帯電話の電源が切られた場合など、接続（リンク）が切断したときは、その後約3分間はLEDインジケーターが約3秒間隔での青点滅になります。約3分以内に通信範囲（約10m）に戻ると自動再接続します。3分以上離れた場合や再接続しない場合は、メインスイッチを1回押すと再接続を試みます。
●携帯電話側でBluetoothをオフにした後、再度Bluetoothをオンにした時は、ヘッドセットの電源がオンのままであればメインスイッチを1回押すと再接続を試みます。

••• 充電池残量警告機能

音声案内「Battery Low」

●ヘッドセットの充電池残量が少なくなった場合に、LEDインジケーターと音声案内でお知らせします。
●充電池残量が一定のレベルより少なくなった場合、通常のスタンバイモード青色点滅が赤色点滅に変わります。そのまま使用を続けると電池残量がなくなり電源が切れてしまいますので、お早めに充電してください。

10 リセット（ヘッドセット初期化）

••• リセットの手順

●ヘッドセットをリセットして、出荷時の状態に戻す方法です。リセットするとヘッドセットに登録されているすべてのペアリング履歴が消えます。接続が不安定なとき機種変更した場合など、ヘッドセットに接続する携帯電話を変更したい場合は、ヘッドセットを一度リセットしてから使用してください。
●適合が確認されている機種とペアリングができなかったり、ペアリング済みの携帯電話が突然認識できなくなった場合などは、リセットして再度ペアリングしなおすことで改善する場合があります。
※充電中のリセット操作はおやめください。

1. **携帯電話機側と本機の接続を切ってください。その後ペアリングも解除してください。**
   電源オンの状態で、メインスイッチとボリュームダウンキー（ー）を同時に約4秒間長押ししてください。
2. **LEDインジケーターが青赤（紫）に点滅したのを確認して、指を離してください。**
   ヘッドセットはスタンバイモード（未接続）になります。
3. **再度ペアリングする場合は電源を一度オフにして、再度電源をオンにしてください。**

メモ

◆携帯電話に登録されているリストから削除する場合は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
◆リセット後にヘッドセットの電源をオンにすると、自動的にペアリングモードになります。
◆マルチポイント接続していた場合でも、ヘッドセット側にに登録されているすべてのペアリング履歴が消えます。

11 マルチポイント（2台同時待ち受け）

本製品は同時に2台の携帯電話と接続が可能です。2台の携帯電話とマルチポイント接続すれば、どちらの携帯電話に着信があっても、本製品を操作して着信を受けることができます。

••• マルチポイントについて

※Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話（一部のau及びノキア製携帯電話）はマルチポイント接続できない場合があります。再接続メニューがない機種は1台のみ、かつペアリングは2台目にしてください。
※携帯電話（スマートフォン）機種やOSのバージョンによってはマルチポイント接続できなかったり、マルチポイント接続時の機能が制限される場合があります。
●2台の携帯電話をペアリングする場合は、以下の手順でペアリングしてください。
①1台目の携帯電話（Bluetooth機器との再接続メニューがある携帯電話）をペアリングしてください。
②電源が入った状態でメインスイッチを5秒長押しして2台目の携帯電話をペアリングしてください。
（1台目の携帯電話とは接続が切れます。）
③1台目としてペアリングした携帯電話を操作して、登録機器リストなどから再接続してください。
（ペアリングではありません。
※マルチポイント接続した状態でヘッドセットの電源をオフにすると、ヘッドセットと最後に通信したBluetooth機器のペアリングだけが記憶され、もう1つの機器のペアリングが切れてしまう場合があります。その際は、次回使用時に上記の②から再度設定してください。

••• マルチポイント時の通話に関する操作

●マルチポイント接続中（2台待ち受け時）は、どちらの携帯電話に着信があってもヘッドセットから着信音が聞こえます。着信応答、着信拒否などの操作は通常と同じです（→「8.基本操作」参照）。
※マルチポイントで接続している2台の携帯電話をそれぞれ携帯電話A（以下A）と携帯電話B（以下B）とします。
●（A）、（B）いずれかとBluetooth接続した状態での会話中に、もう片方に着信があった場合は、ヘッドセットのスピーカーから着信を知らせるビープ音が聞こえます。
●（A）との接続で会話中に、（B）に着信があった場合、ヘッドセット側では次のような操作が選択できます。
①（A）を終話し、（B）への着信を受ける場合 … ヘッドセットのメインスイッチを短く1回押す。
②（A）を一旦保留し、（B）への着信を受ける場合 … ヘッドセットのメインスイッチを短く2回押す。
※①を選択した場合、（B）との通話中に再度（A）に着信があった場合は、上記①、②の操作を選べます。
※②を選択した場合、メインスイッチを短く1回押すと（B）の終話して、保留にしていた（A）との通話に戻ります。
※②を選択した場合、メインスイッチを短く2回押すと今度は（B）での通話を保留して、最初に保留状態にしていた（A）との通話に戻ります。
●1台目はメインスイッチを2回押す、2台目はボリュームダウンキー（ー）を2回押しでラストナンバーリダイヤル。（→「8.基本操作」参照）。
※自動接続の順番や接続状況、携帯電話機種によっては、ペアリング時と1台目/2台目の認識（リダイヤル操作）が逆になる場合があります。
※携帯電話のBluetoothを一度オフにして再度オンにするなど切りとで接続順をコントロールしてください。

13 トラブルシューティング

●故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

以下のような症状で使用できない場合の対処法
■携帯電話で検索（サーチ）しても「BT670/680」が表示されない
■ペアリングは完了したが接続できていない
■ペアリング済みの携帯電話が再接続（自動再接続）できない
■ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。
①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
②ヘッドセットの電源をオフにして、再度電源をオンにする。
上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、それでもつながらない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BT670/680」を削除し、一度ヘッドセットをリセット後、再度ペアリングしてください。（→「10.リセット」参照）

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	ヘッドセットの充電池が充分に充電されていない可能性があります。
	電源スイッチを確実にオン側へスライドさせてください。
電源をオンにすると赤/青交互点滅になる	ヘッドセットがどの携帯電話ともペアリングされていない状態（お買い求め直後や、リセット直後の状態）では、電源をオンにすると、自動的にペアリング待機モードになります。
ペアリングモードにならない	メインスイッチを押す時間が短い可能性があります。
ペアリングができない	ヘッドセットのペアリングモードが終わらないうちに、携帯電話での周辺機器サーチを完了してください。
	ヘッドセットの充電池残量が少ない状態では、ペアリングが成功しにくい場合があります。充分に充電してから、再度試してください。
	周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度試してください。
	携帯電話が不適合であったりペアリング手順が間違っている可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認いただき、可能であれば他の携帯電話（適合機種）で一度ペアリングをおためしください。
スマートペアリングにならない	接続する携帯電話のBluetoothバージョンや、環境（他のBluetooth機器が多い場合など）によってはペアリング手順が省略されない場合もあります。
パスキーがわからない	本製品のパスキーは「0000（ゼロを4つ）」です。
通話、受信ができない	ヘッドセット及び携帯電話の電源がオフになっている可能性があります。電源をオンにしてください。
	携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。
	携帯電話とペアリング及び接続が出来ていない可能性があります。ペアリング及び接続が正常に行われているか、確認してください。
	着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押してすぐに離してください。
通話中にノイズが聞こえる 通話中に音がとぎれる	携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。（パナソニック及びシャープ製の一部機種など）
	本製品を含むBluetooth機器同士で通話すると、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
	携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また他の無線機器と接触している場合や、携帯電話の電波が混線しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質が落ちる場合があります。
	携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがないか確認してください。
	携帯電話をズボンの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話とヘッドセットとの間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。
	携帯電話のWi-FiをOFFにしてください。
音が聞こえない 着信音が聞こえない	ヘッドセットが耳にしっかり装着されていない可能性があります。耳に確実に装着してください。
	ヘッドセットの電源がオフになっている可能性があります。
	携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。ペアリング及び接続が正常に行われているか、確認してください。
	音量が小さくなっている可能性があります。音量を調節してください。
	携帯電話を操作して発信ダイヤルをすると、携帯電話での通話となる場合があります。ヘッドセットで通話をする場合は、メインスイッチを約2秒間長押ししてヘッドセットに通話を切り替えてください。
	通話中にメインスイッチを長押しすると、通話が携帯電話に切り替わり、ヘッドセットから音声が聞こえなくなります。その後の通話及び操作は携帯電話で行ってください。
	携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがないか確認してください。
ヘッドセットから発信ダイヤルできない	ヘッドセットの操作だけの発信ダイヤルは、ラストナンバーリダイヤル（一番最後に発信した番号へのリダイヤル）のみとなります。指定の番号にダイヤルしたい場合は、携帯電話を操作して発信ダイヤルし、その後、ヘッドセットに通話を切り替えてください。
ヘッドセットからリダイヤルできない	HFP（ハンズフリープロファイル）が使用できない携帯電話では、ヘッドセットからのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。
	HSP（ヘッドセットプロファイル）で接続している可能性があります。
	2台目接続のラストナンバーリダイヤルはボリュームダウンボタンです。
使用中に電源が切れる	充分に充電した状態で頻繁に切れるようであれば、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BT670/680」を一度削除し、再度ペアリングしてください。
ペアリング成功後に電源を再投入すると自動接続されない 携帯電話との接続（リンク）切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
	本製品をペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を手動で再接続してください（※ペアリングではありません）。
	メインスイッチを1回押すと、自動接続を再試行して接続できる場合があります。
ワンセグの音声や音楽が聞こえない	音楽/音声の出力先がヘッドセットに設定されていない可能性があります。携帯電話の取扱説明書をご確認いただき、音楽/音声の出力先をヘッドセット（イヤホン）に変更してください。
	ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
カーナビと接続したい	本製品はカーナビにはご使用できません。
パソコンと接続したい	パソコン側のBluetooth機器がHSP（ヘッドセットプロファイル）に対応していれば接続が可能ですが、相互接続はその互換性によることから保証しておりません。また、パソコンとの接続に関するサポートは一切行っておりません。
通話/スタンバイ時間が短くなってきた	内蔵充電池は消耗品です。長期間の使用（充電と放電の繰り返し）により、通話時間/スタンバイ時間は少しずつ短くなります。充分に充電した状態で、通話/スタンバイ時間が著しく短くなってきたり、ご使用できなくなった場合は、充電池の寿命です。充電池の交換はできませんので、新しい製品をご購入ください。
イヤーフックが破損または紛失した	本製品に付属のイヤーフックは、保証対象外の消耗品です。本製品をお買い求めになったお店で取り寄せが可能ですので、必要に応じてお買い求めください。
イヤーピースが破損または紛失した	本製品に付属のイヤーピースは、保証対象外の消耗品です。本製品をお買い求めになったお店で取り寄せが可能ですので、必要に応じてお買い求めください。
USBケーブルやDC充電器が破損・紛失した	保証期間内の製品的な不具合は修理、交換いたします。保証期間外や、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代替え品の提供などはできませんのでご了承ください。
ヘッドセットがDC充電器で充電できない	DC充電器がお車のアクセサリーソケットに確実に差し込まれているか確認してください。
	お車のエンジンがかかっている（またはACC）か確認してください。
	DC充電器内のヒューズが切れている可能性があります。先端キャップを回して取り外し、ヒューズが切れていれば同じ容量の新しいヒューズと交換してください。
マルチポイント接続ができない	一部のau及びノキア製携帯電話など、Bluetooth機器との再接続メニューがない機種同士は、本製品ではマルチポイント接続できません。
	Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話は、2台目として登録してください。
マルチポイント接続中着信音が聞こえない	マルチポイント接続している2台のうち、1台の携帯電話で通話中は、別の携帯電話に着信があっても着信音ではなくビープ音が聞こえます。
	→「音が聞こえない、着信音が聞こえない」の項目もご確認ください。
NFC接続がうまくいかない	NFC機能が内蔵されていても、おサイフ機能などでの使用に特化しており、Bluetooth機器との接続に適していない仕様の携帯電話が一部あります。
	→表面の「一般的Bluetooth機器とのペアリング方法」でペアリングしてください。

※接続する携帯電話の取扱説明書も必ずご確認ください。

発売元
株式会社セイワ　〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

セイワホームページのご案内（右のQRコードでもOK）
適合情報、ペアリング手順、新製品情報などが掲載されておりますので、
インターネットをご利用の方は、ぜひご覧ください。
http://www.seiwa-c.co.jp

お客様サポートセンター（上記のトラブルシューティングで解決できないとき）

お客様サポートセンター…☎0265(98)0139
受付時間/AM10:00～PM6:00（土曜・日曜・祝日除く）
〒399-4603 長野県上伊那郡箕輪町三日町655